県立石岡第一高等学校【総合的な探究の時間の全体計画】(令和7年度)

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を 考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概 念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整
- 理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造 し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

- (1) 創立 115 年の歴史と伝統を受け継ぎ、学科の特色を生かし、地域における教育の中核として「魅力ある学校」「信頼される学校」となる。
- (2) 生徒一人一人が個性を伸ばし、将来の夢を実現するための知識・技能を身に付け、自信と誇りを持てる学校となる。
- (3) あらゆる教育活動の場面で、生徒が主体的に行動し、活気に満ちた学校を目指す。

- (1) 人間、社会、自然について学び、知識を深めることができる。
- (2)地域の状況や課題に目を向け、自己の果たす役割について考えることができる。
- (3) 積極的に他者とコミュニケーションを取り、他者の意見も尊重しながら自己形成に 向かうことができる。
- (4) 課題の解決や地域での活動を通して、自信を深め、自尊の気持ちを持つことができ る。
- (5) 職業について理解し、自分の進路に向けて努力することができる。

- (1) 人間、社会、自然について学び、知識を深めることができたか。
- (2)地域の状況や課題に目を向け、自己の果たす役割について考えることができたか。
- (3) 積極的に他者とコミュニケーションを取り、他者の意見も尊重しながら自己形成に向かうこと ができたか。
- (4)課題の解決や地域での活動を通して、自信を深め、自尊の気持ちを持つことができたか。
- (5) 職業について理解し、自分の進路に向けて努力することができたか。

生徒の実態

- (1)素朴で素直だが、社会や世界に対しての視野 を広げる必要がある。
- (2) 向上心はあるので、学習習慣を身につける必 要がある。
- (3) 将来の進路についてより深く考えていく必要 がある。

生徒の発達をどのように支援するか

(1) 個に応じたきめ細やかな指導

配慮を必要とする生徒へ

- (2)教育相談体制の充実
- (3) スクールカウンセラーやスクールソ -シャルワーカーの効果的な活用

目指す生徒の姿

- (1) 社会や世界に対しての広い視野が身に付 いている。
- (2) 主体的に学ぶ習慣が身に付いている。
- (3)進路実現に向けて自ら努力する姿勢が身 に付いている。

【1学年】

地域社会

- (1.2)地域や社会について自分が興味関心を持つ分野を洗い出し、それらが日本や世界 にどのような役割を果たしているのか調査研究する能力。
- (3.4) 自己の適性を見つめ、自己理解を深め、自分と社会との関わり方を考え、課題を 設定し、情報収集、整理する能力。

これからの進路

- (3・4) 社会の発展と学問・職業との関わりを知り、整理する能力。
- (5) 学問や仕事に関して、課題を設定し、情報収集、整理、プレゼンテーションする能 力。

【2学年】

社会で生きる自分

- (1) 興味関心のある社会問題について、解決方法に向けて考察する資質。
- (4.5)解決に向けて課題を設定し、情報収集、整理、プレゼンテーションする能力。

【3学年】

進路実現に向けて

- (1・2) 進路希望に沿って、社会問題を解決方法に向けて考察する資質。
- (4.5) 進路に関する分野での課題を設定し、情報収集、整理、プレゼンテーションする 能力。

○学習活動 ●指導方法

○地域経済・歴史、国際関係や平和について学び、考えを深める。

○自分の興味や適正に関する学問や職業について学ぶ。

●図書、インターネット、データベースなどの利用方法について資料をもとに指導する。

〇大学模擬授業・進路懇談会・社会人講話等の機会を利用し、地域で活躍する人を招いて 講話を聞き、理解を深める。

●講義メモの取り方、まとめ方について資料をもとに指導する。

○グループワークやペアワークを行い、他者の意見に耳を傾け、自分の意見を深める。

●KJ法、司会進行・発表の方法について資料をもとに指導する。

〇インタビューやフィールドワークを行い、レポートにまとめ、発表する。

●アポイントメントの取り方、マナー、レポート作成法などについて資料をもとに指導す る。

〇偕楽園の樹木剪定等や先進地での実習を通して、農業の必要性や課題を学ぶ。 (诰園科)

诣導体制(環境整備、家庭・地域との連携)

県内や市内の企業・官公庁の協力を仰ぎ、講師の派遣依頼や実習の手配を行う。(各部長・各学年主任)

学校の中で探究活動推進リーダーを置き、教科を横断した組織を作り、全学年や校内分掌が協力して実施にあたる。(教務部、教科主任、学年主任)

探究の活動内容や成果を積極的に公開し、各方面からの協力や助言を仰ぐ。(教務部、学年主任、学級担任)